

令和3年6月21日

令和3年度

第一回 技術英語研修（スピーキング）

技術英語研修 ランチタイムミーティング

報告書

【主催】自然科学研究機構 分子科学研究所(大学連携研究設備ネットワーク)

【開催日】令和3年6月14日(月)

午前の部 10:00 ~ 12:00

ランチタイムミーティング 12:15 ~ 13:15

午後の部 13:30 ~ 15:30

【開催場所】オンライン (Zoom)

【講師】ふた葉プロジェクト (サイエンスコミュニケーター&ライター) 梅村綾子氏

【受講者】大学の技術職員、技術支援員 各回10名 合計20名

【プログラム】午前・午後とも共通

自己紹介 (40分)

テンプレートを使って、自己紹介を行う。

ヒトコト文法解説 (初心者向け) (20分)

ロールプレイング (50分)

二人ペアになり、留学生と技術職員という役割で、シチュエーションを与えられ、英語でのやり取りを体験した。3分のやり取りを、各ペア1回行った。

例：(留学生役) 装置の使い方を知りたい。(技術職員役) 装置担当で、使用方法と注意点を教える。

まとめ (10分)

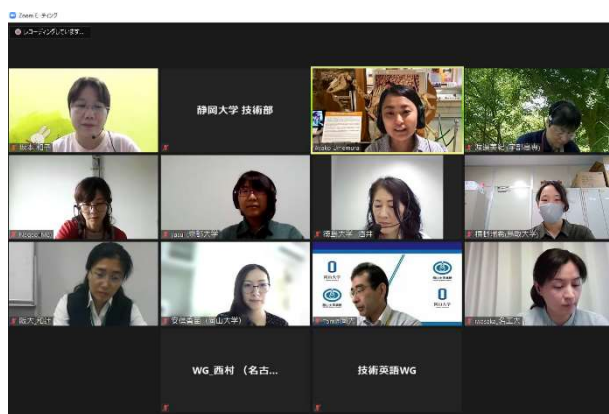
【報告】

令和3年度の英語研修を開催するにあたり、事前に技術職員からの研修希望のアンケートを行った。その結果、業務が忙しく研修参加の時間が取れない職員が多いことがわかった。そのため、今回は研修時間を2時間として募集を行ったところ、9名の新規の申込みがあった。また、各回10名の募集に、参加希望者が21名となり、英語研修に対する需要が高いことが伺えた。

・研修について

当日の研修は、前半後半で同じプログラムを実施した。

最初のプログラムである自己紹介では、講師に提示されたテンプレートを参考に、3分間で自己紹介の内容を考え、一人ずつ発表した。次のヒトコト文法解説では、基本の文型の講義を聞き、英語を話すときに気をつけることを学んだ。これを踏まえて、最後にロールプレイングを行った。初めての参加者は、ロールプレイングに慣れていないこともあり、戸惑う場面も見られた。次回からは、これまで経験のある参加者が、例も兼ねて先に行かない、初めての参加者もスムーズにプログラムに入っていけるように促すように改善したい。ロールプレイングは共用機器を利用する留学生と対応する技術職員という、実務に活かせる内容で行った。今回のロールプレイングを元に、留学生との対応をシミュレーションして繰り返していけば、いずれは機器共用を幅広い人材に利用してもらう際に貢献できると考える。



・ランチタイムミーティングについて

Zoomのブレイクアウトルーム機能を使い、講師の部屋と技術職員の部屋を準備し、参加者を振り分けて行った。

講師の部屋では、午前中の参加者が研修の感想を伝えたり、内容について掘り下げる会話も見られた。また、日々の英語の勉強についても話題に上がり、それぞれの勉強法について意見を交わしたり、講師にアドバイスを求める場面もあり、短い時間であったが、参加者が有意義な情報を得て、今後の英語学習に役立つ時間になった。また、今回の研修に参加していない技術職員も参加しており、英語研修を知ってもらう目的も果たせた。

技術職員の部屋では、英語研修を受けようと思ったきっかけなど、今後の研修を行っていく上で、いろいろなヒントを得ることができた。

ランチタイムミーティングについては、前半の研修が長引いてしまったことから、殆ど休みなく、続けて参加の形になってしまった。今後は時間の設定についてももう少し余裕を持った設定にする必要がある。

・まとめ

研修は各回最大枠 10 名、合計 20 名が受講した。受講後のアンケートからも、参加者の満足度が高く、技術職員向けの英語研修が必要とされているということがわかった。特に技術職員と留学生という役回りで行うロールプレイングは、実際の業務に直結する参加者も多く、非常に好評であった。今後のプログラムでも繰り返し行っていきたい。

今回はランチタイムミーティングを挟んだことから、時間的に余裕がなくなってしまった。7月の研修はすでに募集が開始されているため、8月以降の研修で、研修時間について少し検討を行っていきたい。